

# 令和5年度全国学力・学習状況調査（中学3年生）の結果をお知らせします

唐津市教育委員会

令和5年4月18日（火）に、全国学力・学習状況調査が実施されました。

このたび、唐津市全体の結果・分析・改善策をまとめましたので、お知らせします。



この調査の目的は、生徒の学習状況、課題等を把握するとともに、結果を踏まえて生徒への学習指導の改善・充実に役立てるために実施されています。

## 1. 令和5年度 4月調査 全国、県との比較

中学 3年生	正答率			全国平均 との差	県平均 との差
	全国	佐賀県	唐津市		
国語	69.8	68	62	-7.8	-6
数学	51.0	47	38	-13.0	-9
英語	45.6	39	32	-13.6	-7

**【正答率から分かること】**  
正答率で比較すると全ての調査問題において、全国平均及び県平均を下回っている。特に、数学、英語については大きく下回っている。

## 2. 令和4年度 佐賀県学力・学習状況調査（12月調査）と4月調査の経年比較

今年度の中学3年生は、昨年度の12月に佐賀県学力・学習状況調査を受けています。その調査と今年度の調査を基に、同一生徒の経年比較を行いました。その結果については、次のとおりです。

### 【国語】

	令和4年度（12月調査） 正答率	令和5年度正答率
唐津市	52.6	62
県（対県比）	56.5(0.93)	68(0.91)

### 【数学】

	令和4年度（12月調査） 正答率	令和5年度正答率
唐津市	30.8	38
県（対県比）	39.9(0.77)	47(0.81)

### 【英語】

	令和4年度（12月調査） 正答率	令和5年度正答率
唐津市	47.3	32
県（対県比）	55.0(0.86)	39(0.82)

**【正答率から分かること】**  
令和4年度12月調査の2年生が今年度の全国調査の対象生徒となっています。令和4年度12月調査、令和5年全国調査ともに、対県比を下回っています。  
経年比較で対県比を見てみると、数学は、0.77から0.81と若干ではありますが改善が見られます。しかし、国語、英語においては、令和4年12月調査から若干下回る結果となりました。

※（対県比）は、県の正答率を1とした時の唐津市の割合です。

### 3. 生徒意識調査の結果表（○…上回っている、—…ほぼ同等である、▼…下回っている）

※1ポイント以上の開きがあるかどうかを基準としています。

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計との比較（%）

主な質問事項	全国との比較	県との比較
国語の勉強は好きですか（58.8%）	▼	▼
数学の勉強は好きですか（52.3%）	▼	▼
英語の勉強は好きですか（48.0%）	▼	—
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（76.5%）	▼	▼
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか（70.1%）	—	▼
1、2年生のときに受けた授業は、自分にあつた考え方、教材、学習時間などになっていましたか（73.9%）	—	▼
自分にはよいところがあると思いますか（78.1%）	▼	▼
人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.4%）	—	—
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（67.0%）	○	▼
将来の夢や目標を持っていますか（64.3%）	▼	▼
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（97.0%）	○	—
普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）と回答した生徒の割合（52.8%）	▼	▼
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）（54.3%）	—	○
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（85.7%）	▼	—
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか（91.4%）	○	—

### 4. 正答率が高い生徒に多く見られる傾向

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思っている。
- 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたと感じている。
- 1、2年生の時に受けた授業は、自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていたと感じている。
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていたと感じている。

## 5. 調査結果から考えられる成果や課題と改善策

- 各教科、県や全国の正答率を下回っており課題が見られます。また、生徒意識調査の結果からも、生徒自身が学びを実感できるよう、より一層の授業改善を図っていく必要があると考えます。各学校において、「唐津の学びスタイル」に基づく 学力・授業力向上の取組を推進するとともに、唐津市学力向上研究指定校の公開授業を通して、市内の教職員で授業改善に向けた協議を充実させていきます。
- 唐津市学力向上指定校の公開授業において、先生方の優れた取組を紹介し、授業改善の具体について学ぶ研究会を開催します。
- これまでの唐津市学力向上アクションプランにもあった、パーソナルワーク、グループワーク、クラスワークを効果的に組み合わせることで言語活動を充実させていきます。
- 英語力向上を目指し、小学校と中学校が連携した外国語教育指導力向上研修会を実施します。また、研修会を通して好事例を共有することで、授業改善を推進していきます。また、各種調査を基に、成果と課題を明確にし、課題を解決するための授業改善策について協議する場を設定します。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」で肯定的な回答をした生徒は 67%、「将来の夢や目標を持っていますか」で肯定的な回答をした生徒は 64%でした。各学校の特色や地域活力を生かした学習活動を展開したり、キャリア教育を推進したりしていくことで、更に郷土唐津を大切にすることを育んだり、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていくことができるようにしたりしていきます。
- 「家で自分で計画を立てて勉強している」と考えている生徒の割合は、県を上回っていますが、1日当たりの勉強時間については、国及び県を下回っています。今後は、家庭学習の質と量の両面で改善が図られるようにしていきます。

## 6. 子どもの学力向上のために家庭で協力いただきたいこと

- ・朝のおはようの『あいさつ』で気持ちのいい1日をスタートすることができるようにする。
- ・絵本や本の読み聞かせをしたり、宿題や勉強をするときのノーテレビ・ノーメディアを行ったりして子どもの『学びを支える』。
- ・小さな頑張りを『ほめる』ことを通して、自分に自信がもてるようにする。
- ・子どもの話をじっくり聞きながら『対話する』。

この調査結果は、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、唐津市全体の正答率は公表しますが、調査の目的や小規模等の実情等を配慮し、個別の学校の正答率等の数値による結果を公表しないこととしています。

**「学校」「家庭」「地域」が一体となって子供たちを育て  
いきましょう！**

